

### 第3回 河内長野市子ども・子育て会議

#### 会議録

日 時	令和2年1月30日(木) 午後3時30分～午後5時30分
場 所	河内長野市役所 8階801会議室
出席者	会長 渡辺 俊太郎 会長代理 河野 清志 委 員 山中 和彦 ・ 横田 朋子 ・ 安本 悦章 ・ 辻野 晶子 ・ 山本 淑子 ・ 工藤 敬子(欠席) ・ 森本 宏司 ・ 伊藤 知加 ・ 浦田 盾子 ・ 増永 友香
事務局	子ども子育て課
会議の公開	公 開
傍聴者数	0名

#### 1 会議次第

1. 開会

2. 議事

①第2期河内長野市子ども・子育て支援事業計画(案)について

3. 閉会

## 2 審議経過

### <開会>

#### 1. 開会

(新委員委嘱状の交付)

(事務局あいさつ)

#### 2. 議事

##### ①第2期河内長野市子ども・子育て支援事業計画(案)について

(事務局より資料説明)

渡辺会長：ご説明いただきましたが、ご意見はございますか。

横田委員：地域子育て支援拠点事業の数字が大きく変更になっておりますが、どのように精査をされましたでしょうか。

事務局：保育所等への入所児童が増えることにより、年々利用者が減少していくものと考えております。

河野会長代理：計画の位置づけに子どもの貧困対策に関する大綱を勘案と記載されておりますが、先日の新たな大綱は踏まえられているのでしょうか。

事務局：以前の大綱で作成しておりますので、新たな大綱を確認し、改める必要があれば変更いたします。

渡辺会長：子育て支援アドバイザーについて、どのような経緯で見直し予定となりましたでしょうか。

事務局：子育て支援アドバイザーは、10年以上前に大阪府の養成講座を受けた方に依頼をしておりましたが、自宅訪問による育児相談の支援はあいつくの保育士が行っており、出産されたご家庭に赤ちゃん訪問をしたり、4カ月検診の際に地域の相談先の案内をすることで補えているので、見直し予定となりました。

渡辺会長：現在の活動状況はどのようになっておられますか。

事務局：今年度は活動実績なしとなっております。

増永委員：前回の会議の中で小学校の子どもの支援に対して、教育者を目指す学生を募集するという意見を出させていただいたが、前向き検討いただけるのでしょうか。それとも、実施することが難しいのでしょうか。

森本委員：河内長野市内でも大学と連携している学校もあり、制度としては出来上がってお

ります。また、それらを単位として認定している大学もございます。

事務局：保育所などではインターンシップなどを活用している施設があり、学童では学生アルバイトに入ってもらったりしております。保育士不足で少子化の傾向もありますので、今回の計画には入っておりませんが、積極的に取り組んでいきたいと思っております。

渡辺会長：他市ではインターンシップにあたって、市から保育園や小学校、大学等へ説明を行ったり、市としてインターンシップをバックアップしているところもあります。そうすることで学生としても参加しやすくなるということもあるかと思っております。

浦田委員：子どもの居場所づくりの推進に記載されている「新・放課後子ども総合プラン」とは、放課後児童会と放課後子ども教室を増やすなど、新たなプランということでしょうか。

事務局：国のプランの呼び方となっており、就労されている保護者を持つ子どもだけでなく、放課後の子どもたちの居場所を増やしていくものとなります。

河野会長代理：計画の中にスクールカウンセラーの活用と記載されておりますが、スクールソーシャルワーカーは配置されているのでしょうか。

事務局：市に1名と各小学校区に1名となります。

河野会長代理：スクールカウンセラーは何名配置されておりますでしょうか。

事務局：市に1名と各中学校区に1名となります。

河野会長代理：スクールソーシャルワーカーも計画の中に入れてはどうでしょうか。

事務局：計画には記載されておりますが、実務者会議などには出席いただくようになっております。

山本委員：今年度の待機児童はどのようなになっておりますか。

事務局：4月時点では2歳児で13名となっており、1月現在では全体で56名となっております。内訳としましては、0歳児43名、1歳児8名、2歳児5名となります。

山本委員：双子の児童の保護者から、1歳児になると同じ施設に入所できないので、0歳児の時に申しないといけないという話を聞きました。

事務局：0歳児については4月時点の入所児童が少なく、年度が進むにつれて増加してきますので、4月時点では空いていることがあります。1歳児につきましては、4月時点である程度の児童が入所している状況であり、二人同時での入所を希望されると難しくなってくる場合がございます。

伊藤委員：小中学生や保護者を対象とした親学習講座とはどのような講座でしょうか。

事務局：家庭の教育力の向上という目標の中で、悩みごとを話し合っただき、子育てについて理解を深めていくものとなります。

増永委員：親学習について、小学校から便りをいただいたことがありますが、子育て関連とは少し離れた印象を受けた覚えがございます。親として子に教えるべき大事な事を祖父母から学ぶ機会が少なく、親自身が知らないということも増えてきていると思いますので、親を教育するという部分を充実していただければ良いのではと思います。

事務局：いただいたご意見はお伝えさせていただきます。

横田委員：親育ちという部分ですね。保護者の中には、上の子が赤ちゃん返りして大変なのでかわいくないと口に出す保護者がいて、今は上の子が親の愛情を必要としているので、そこに愛情を注ぐ必要があることを説明しております。

山本委員：4ヶ月検診の際も、3人のうち手がかかる1番下の子がかわいいと言うが、上の2人もしっかりとみてほしいことを説明しております。説明すればわかってもらえますが、そのような保護者が増えているのだと思います。

増永委員：保護者にとって、その一言があるのとないのでは大きく違うと思います。

横田委員：養育費をもらえない家庭に対して、自治体がある機関と契約して、機関に養育費を肩代わりしてもらえるという話を聞いたことが、河内長野市ではそのような制度はございますか。

事務局：そちらにつきましては、大阪府の制度として構築されております。まだ現時点で大阪府から具体的な内容はきてませんが、条件は大変厳しいと聞いております。件数としては少ないと思っておりますので、できる範囲内で検討しております。

伊藤委員：自分が小学校の時の給食は、P. 59に記載されている地産地消のものではなかったが、実際にこのような取り組みをされているのでしょうか。

事務局：保育園や認定こども園は各園それぞれが工夫を凝らして給食を提供されております。千代田台保育所においても地産地消ということで、地域で作っている季節野菜を使用しております。また年1回生産者に保育所へ来てもらい、園児と触れ合う機会を設けております。小学校につきましても、伝統的な食や地産地消をしており、河内長野市の給食の評判は良いと聞いております。

浦田委員：保護者としては、安心してもらって問題ないと思います。行事食がいくつもあり、子どもからこれ作ってほしいと言ってくれたりするようにもなりました。

渡辺会長：食事の支援が充実していると思いますので、その部分をアピールするのも良いか

と思います。

伊藤委員：前回の会議で産後1週間検診が無くなった件について、確認いただくことになっておりましたが、どうなりましたでしょうか。

事務局：検診がなくなったのではなく、配布しているチケットが産後の検診に使えなくなったということだと思いますが、再度確認いたします。

浦田委員：広報を見て、あいつくのイベントに参加していたが、1人で子育てしないようにあいつくでサークル化をお声かけしてもらっていたのですが、当時はサークル化の提案までだったと思いますので、その後の活動の仕方についても発信してもらえればと思います。

渡辺会長：広報だと自分で情報を取りに行く人しか見ることができないので、最近ではその人にあった情報を支援する側の人や行政が発信していることが増えてきております。利用者支援事業や保育士の方々など保護者と接している方から保護者にあった情報提供をすることも必要になってきていると思います。

(今後のスケジュールについて説明)